

## 今日のみことば

### □ 12月3日(日) 民数記 27章

古代近東諸国において始めて主は女子に相続権を与えられたモーセの生涯はここで終わろうとしていた。神は信仰の篤いヨシュアを後継者として指名された。

### □ 12月4日(月) 民数記 28章

神はカナンでの定住生活のために、定期的に犠牲を献げること命じられた。これは神の臨在と、罪から常に清められること重要性を強調するためでした。

### □ 12月5日(火) 民数記 29章

カナン定住生活のための定期的な犠牲についての命令が続きます。第7の月の祭り。ラッパの祭りのためのささげ物。贖いの日のささげ物。仮庵の祭りのためのささげ物。

### □ 12月6日(水) 民数記 30章

イスラエルにいる者は、どのような誓願をしても、それによって縛られる。律法は誓いを強制してはいなかったが、一度立てた誓いは必ず実行されねばならなかった。

### □ 12月7日(木) 民数記 31章

ミデアン人はイスラエルを誘って偽りの神々を礼拝させた罪の故に罰せられた。選びの民を腐敗させたカナンの民を聖絶せよとの厳命を出された。

### □ 12月8日(金) 民数記 32章

ルベン族とガド族は自分たちが願う土地を得たが、さらに欲望を満たそうと願った。モーセはルベンとガドの行為を喜ばなかった。

### □ 12月9日(土) 民数記 33章

ここにはエジプトからモアブの平野までの旅程が記されている。モーセは神の命令でこの旅行日誌を書いた。このような行動はいろいろな意味で重要な事である。

---

ろ ぼ No. 1844  
2017年 12月 3日  
日本バプテスト 立川キリスト教会  
牧師 大川 博之

---

マタイ 1:18

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。

今日は待降節第1主日です。私たちは年が巡り来るたびに、主キリストご降誕の喜びの日を迎えて心新たに、神さまの慈しみに感謝をささげさせていただくのです。

神さまは何を、問い続けておられるのでしょうか。問いではありません。神さまはどこまでも、私たちにその慈しみが豊かに、と願っておられるのです。その思いをしっかりと私たちが受け取ることが出来るようにと願ってお出でなのです。マタイは「二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった」との言葉で語り伝えました。この出来事は、主なる神さまの出来事だと言うことです。まず私は、そのことをしっかりと受け止めることから、始まるということに心に

留めるのでなければなりません。今日、クリスマスが何であるかは、横に置かれて、人々の喜びの祝いに変えられた、といっても過言ではない現状です。やっぱり、どのような形ででも、その本来のものに変えなければ、その出来事の目的は達成されることはありません。そしてそれは世界一難しいことであろうと思っています。しかし一つだけ可能性があるのは「人間にできることではないが、神は何でもできる」(マタイ19:26)との信仰による行動です。

神さまは何をなさりたいのですか。天地万物を創造された神さまはそれを見て「良し」と言われたお方です。たとえ自分自

身が犯した罪のゆえに、滅びようとしている被造物・人間でもそれを見過ごしにされることが出来ない神さまなんです。私はいつも神さまのことを思うとき、分からなくなることしばしばです。私が思い描いているお方とは違って戸惑うことしばしばです。それでも神さまがなされことははっきりしています。ヨセフはマリヤの懐妊を知ったとき、大変驚愕しましたが、天使の言葉を受け入れました。そこで働いた驚くべき力をどのように表現したら良いのでしょうか。このこと以来、人間は知恵の限りを尽くして、それを解明しようとしてきましたが出来ていません。

神さまの出来事は受け入れるのです。私たちを、愛する被造物として愛し続けてお出でになる神さまは、良きことをもってそれに応えて下さるお方です。ヨセフのこの思いと忍耐を通して神さまがなして下さった、すばらしい光景を私たちは忘れさせていただくことは出来ないでしょう。クリスマスから始まったこの喜びの知らせは、ほんとうに全世界の地の果てまで伝えられなければならない、クリスマスの知らせです。

この「世界バプテスト祈禱週間」には、私たちの祈りとささげ物が結集されなければなりません。それは全世界に、地の果てにまで、このクリスマスの喜びが伝えるためです。それがクリスマスなのです。私は神さまのなさることがしばしば分からなくなるといいました。それほどに神さまの出来事は先を行っているのです。私が思わぬ先に神さまは事をなしていただきます。その後をしっかりとついて行くだけです。

————— 《 聖書の学び・祈禱会 》 —————

ルカ 1:26-38      どうして わたしが

私たちはイエスさまがどのように誕生なさったか、聖書にしっかりと聞かせていただいています。ヨセフにそのことを告げた天使ガブリエルは、マリヤの元へ来て「恵まれた方、おめでとう。あなたは身ごもって男の子を産む。その子は偉大な人となり、いと高き方の子といわれる」と告げました。マリヤは驚き「どうして、そのようなことがありえましょうか」と尋ねると、御使いは「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたを覆います」と答えました。

マリヤはしっかりとそのことを受け入れ、「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように」といいました。しかし彼女に不安がなかったといいきれません。彼女が信仰篤い女性であったとは記されてはいません。けれども信仰に生きていました。神さまは、このようにして私たちを高みへの導いて下さるのです。



Read God's Word.